

事業所名 多機能型事業所あおば

支援プログラム

作成日 R8 年 4 月 1 日

法人（事業所）理念	思いやりを持って1人1人に寄り添い、柔軟な発想でそれぞれが自分らしく生きるためのサポートをします。							
支援方針	個別支援計画に基づき、就学前野・学童の医療的ケアや重症心身障がい児1人1人に合わせた療育・支援を行います。							
営業時間	10 時 00 分から	17 時 00 分まで	送迎の有無	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	医療的ケアの有無	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	入浴の有無	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に基づき心身の発達を促す活動を提供します。 ・健康状態の把握、医療的ケアの必要な未就学児、児童に対して医療専門職、看護師が医療的ケアの支援を提供します。 ・日々の活動の中で機能訓練職員の指導の下、簡単な運動やマッサージなどの療育や支援を提供します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・保有する感覚や感触を刺激し姿勢保持や運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図ります。 ・感覚の特性（過敏や鈍麻）への対応や環境設定などの支援を行います。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人に応じた保有する感覚を活用して情報を収集しやすいように色・形・声・香り・触り心地など認知機能の発達を促す事のできる支援を提供します。 ・玩具や教材を自身で選択できる環境を整えて1人1人の特性に配慮し支援します。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら伝えたい、発信したいと思えるような信頼関係を構築していきます。 ・言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション共にハンドサインやジェスチャー、表情などから気持ちを汲み取るなどし繰り返し伝え支援します。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・話す、聞く、触れるなどのコミュニケーションを通してお友達を認識したり、信頼関係を構築していきます。 ・支援者がそばにいて安心して集団活動に参加し活動を楽しめるように支援します。 ・相手の気持ちや状況の理解、自己の感情のコントロールのための支援をします。 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の生活に合わせて送迎・入浴サービスを行います。また、ご家族からの相談に対する助言などの支援を行います。 ・関係者、関係機関との連携による支援体制の構築を図ります。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能型事業所のため生活介護や就労継続支援B型への移行をスムーズに行っていきます。 ・放課後等デイサービスから系列の生活介護への移行をスムーズに行っていきます。 					
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・外出などを通し、社会資源を活用していく中で地域交流を図っていきます。 ・児童発達支援等に対する理解促進のための地域活動への参加を行います。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修を行い、手づくりおもちゃの作成や活動内容など職員で検討・準備を行います。 ・虐待研修、施設外研修への参加をします。 ・リスクマネジメント（救命・AED研修） 					
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会・夏祭り・運動会・ハロウィン・クリスマス会 ・卒業イベント・外出レク・昼食レク・おやつレク・など 							